



大砂土中だより

はっ らっ
澗 刺 と

さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.3 平成30年6月1日号

美しいことば

校長 小林 正美

マナーとは、お互いが気持ちよく生活できるようにと祖先から受け継がれてきたものです。さいたま市では、そのマナーの一つとして、心を潤す4つの言葉「はい」「おはようございます」「ありがとう」「ごめんなさい」を推奨しています。本校でもマナーの基礎として、生徒会により、朝の登校時に「あいさつ運動」を展開しています。「この学校の良いところは」と尋ねると、ほとんどの生徒は、挨拶ができる学校と答えてくれるのではないのでしょうか。また、私が放課後、部活動を見学に行くと、どの部の生徒たちも私の方に顔を向けて、大きな声で「こんにちは」と挨拶をしてくれます。部活動に一所懸命取り組んでいる生徒の熱い気持ちが伝わってきます。

挨拶とは、とても不思議なもので、お互いを全然知らない間柄でも、言葉（日本語）の通じない相手でも、その心を開かせる大きな力をもっています。知らない土地に出かけた旅先などで、「おはようございます」「こんにちは」等の挨拶をすると、いかめしい顔をした人も、にっこりと顔を綻ばせて挨拶をしてくれます。これは、意思伝達機能としての言葉が、その意味を離れ、言葉を交わすことによってお互いの人間関係を円滑にする、いわば潤滑油

のような働きをするからでしょう。挨拶の効果は、挨拶を交わすことによって、相手と親近感を抱くことができること、そしてさわやかな気持ちになれることではないのでしょうか。

ここに、「きくら・なるみ」さんの詩を紹介します。

「美しいことば」

おはよう おはようございます
朝もやの中から
すんだはりのある声がひびく
人の心に
きょう一日の明るい灯をともしことば
一日は、このことばからはじまる

はい
さわやかな音感の心よさ
母なる国のことばの中で
最後に光り輝くことば

ありがとう すみません ごくろうさま
豊かな心 広い心
温かい心 素直な心から
わきでるこのひとことが
貧しい心を豊かにし
病める心をいやし
閉じた心をあけはなつ

おやすみなさい
さようなら
家路を急ぐ夕暮れの街かどで
一日の学業を終え
一日の仕事を終えて
かわされる温かいねぎらいのことば
一日はこのことばで終わる

うるわしきかな 母なる国のことば
民族の生命こもることば
価値高きことば
ふるさとの心うすれ
ひからびてとげとげしい世の中に
このことばの何と美しいことよ